

## ガーマンアノール

学名：*Anolis garmanni*

分布：ジャマイカ

体長：40cm前後

特徴：鮮烈なグリーンが印象的な中型のアノール。体色はやはり変化する。動きは素早くつかもうとすると口を開けて威嚇し、咬もうとするので、ハンドリングには向かない。この仲間は、床材を掘るなど積極的にレイアウトを壊すことはないので、観葉植物や流木などをふんだんに使ったレイアウトケージなどで飼うと非常に美しい。餌にはコオロギやミールワームを与え、紫外線の照射が不可欠。入荷量は比較的少ない。



## グリーンアノール

学名：*Anolis carolinensis*

分布：アメリカ南東部、西インド諸島原産

体長：20cm前後

特徴：ハワイやグアム、日本（小笠原諸島）にも帰化している小型のトカゲ。体色を緑から褐色まで変化させる能力があり、以前はアメリカカメレオンと呼ばれたりもしたが、最近では単にアノールの方が通りが良い。スペースに余裕があり弱い個体の逃げ場があることを前提に複数飼育すると、オス同士の威嚇行動やボビングと呼ばれる社会行動も観察できる。餌には小さなコオロギやミールワームを与え、水はケージ内に霧吹きして与える。

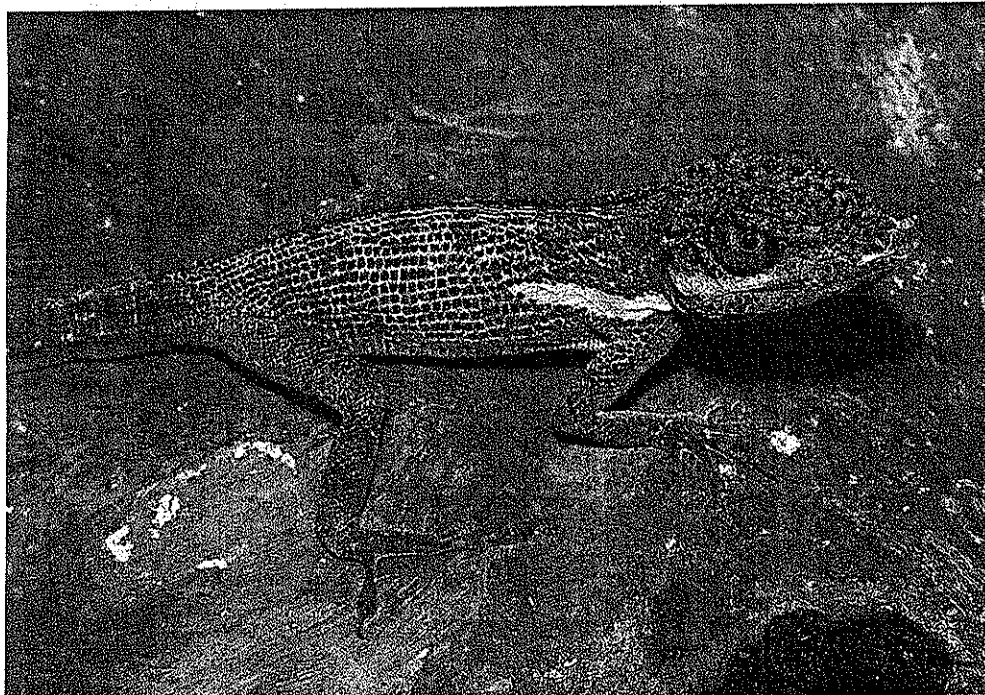
## ナイトアノール

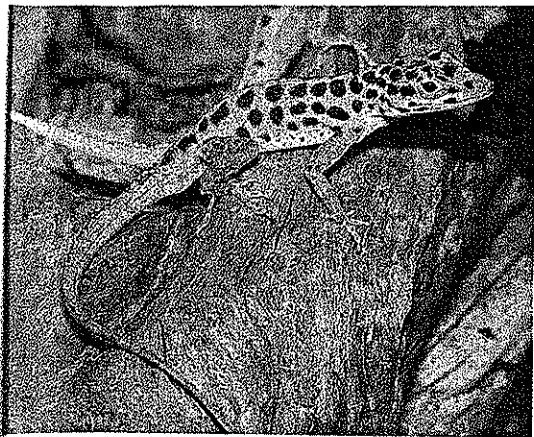
学名：*Anolis equestris*

分布：キューバ、フロリダ（帰化）

体長：50cm

特徴：比較的大型になるアノールで、動きは速くないが、刺激されると口を開けて威嚇する。あまり活動的でなく動き回ることもないので、大きさの割には狭いケージでも飼育が可能である。餌はコオロギなどを与えるが、そのサイズからピンクマウスなども食べられるので与えると良いだろう。アノールの仲間は非常に種類が多く、かつ美しく飼いやすい種が多いのだが、輸入される種が限られてしまっているのが残念である。





### サバアノール

学名/*Anolis sabanus* イグアナ科  
分布/レッサアンテル諸島のサバ島。

### サバアノール

全長12cmほど。樹上棲で昼行性。背面の基色は白っぽい灰色で黒い水玉模様がある。咽喉垂は薄い黄色。背面正中線上にタテガミ状鱗列はない。飼育下では昆虫を食べる。岩場などの乾燥地を好んで棲む。本種は以前、フタモンアノール *A. bimaculatus* の1亜種とされていたが、現在では独立種として扱われているようである。

### ナイトアノール

全長30~50cm。森林や果樹園に見られる。頭部は骨質化し、ごつごつしている。吻は細長い。咽喉垂はピンク色。眼の下と肩のあたりに白から黄色の条が入る。尾はやや側扁する。樹上棲で昼行性だが、陽陰を好む。動きは速くなく、敵に追われると、樹冠へ登って逃げる。また、口を開けて咬みつく。餌は大型の昆虫、他の樹上棲トカゲなど。繁殖期は夏。幼体は頭が丸く、眼が大きいので、まるで別種のようなイメージを受ける。

### ガーマンアノール

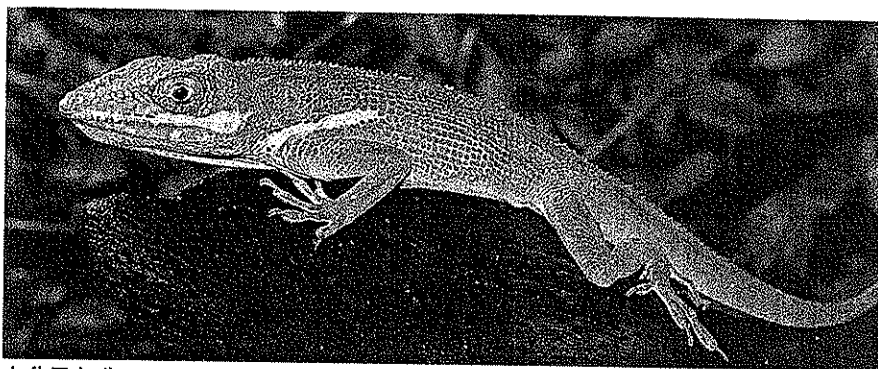
全長20~25cm。森林に棲み、樹上棲。背面正中線上にタテガミ状鱗列がある。体色はエメラルドグリーンから黒にまで変化し、時に胸部に斜めの条やスポットが現れることがある。咽喉垂は鮮やかなオレンジ色。昼行性で、動作が非常に素早い。また、気性が激しく、近づくと口を開けて威嚇し、咬みつこうとする。餌は昆虫など。

### マスクゼンマイトカゲ

全長15~27cm。林縁部や草地、海岸付近にも棲む。基本的に地上棲だが、木や岩などにも登る。また、地面に穴を掘って隠れ家とする。オスは眼に黒い条が走り、四肢が緑色で、背面は赤っぽい色に白い小点が入る。メスは全身褐色の地にオレンジ色のスポットが入る。昼行性で、昆虫を主食とするが、果実などの植物質も食べる。和名は、興奮したり逃げ去るときに尾をゼンマイのように巻き、体の上にかざしてゆらゆらと動かすことになむ。

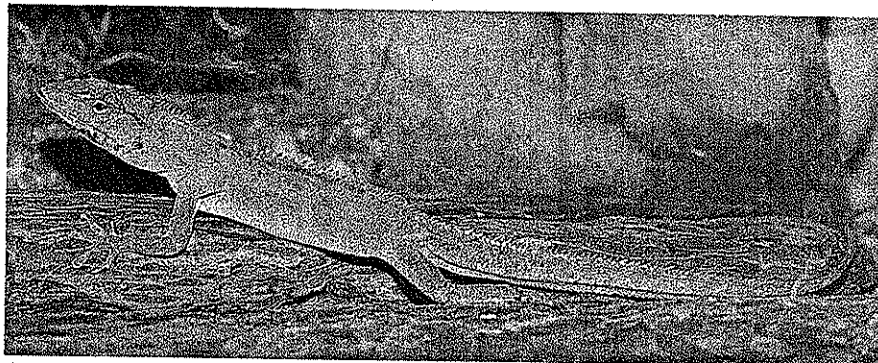
### アゲマキブリカ

全長27~41cm。熱帯降雨林に棲む。四肢が長く、尾と指が非常に長い。後頭部の両側面に大きな棘状の鱗の集まりがあり、古代人の



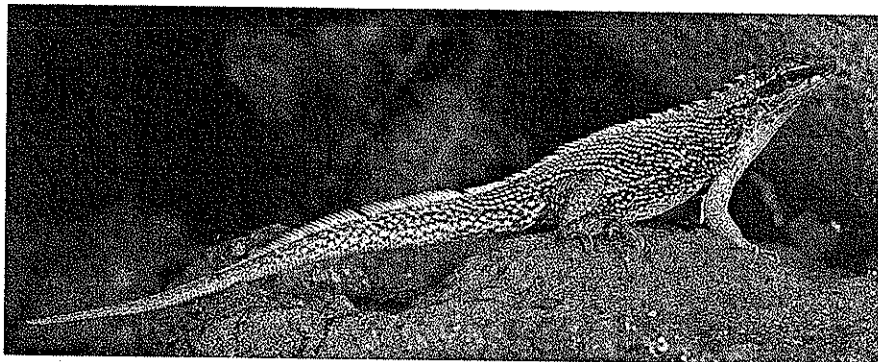
### ナイトアノール

学名/*Anolis equestris* イグアナ科  
分布/キューバ、フロリダ(人為分布)。



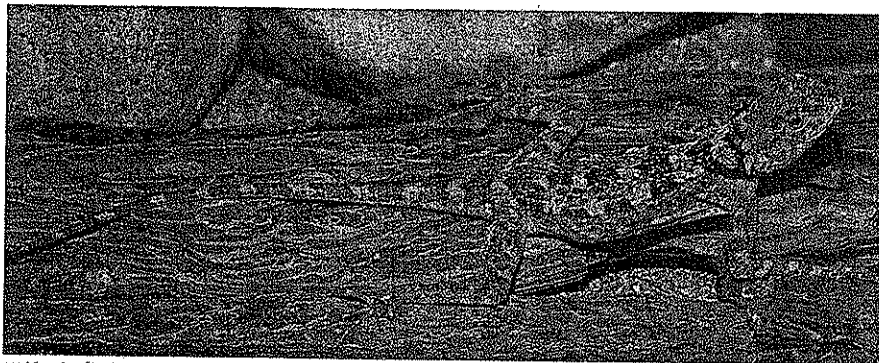
### ガーマンアノール

学名/*Anolis garmanni* イグアナ科  
分布/ジャマイカ。



### マスクゼンマイトカゲ

学名/*Leiocephalus personatus* イグアナ科  
分布/西インド諸島のヒスパニオラ島。



### アゲマキブリカ

学名/*Plata plica* イグアナ科  
分布/アンデス山脈より東の南米北部。

髪形であった「あげまき」状態なのでこの名がある。様々な種類の樹木の太い幹にあり、色々な高さの場所で見られる。ほぼ完全な樹上生活者で、めったに地上には降りない。敵に追

われると、樹上を樹冠に向かってかなりの高さまで走って逃げる。餌は昆虫だが、その大部分はアリで占められる。5月に2卵をもったメスが採集された記録がある。